

ねえ富士宮さん！吹奏楽部の助っ人、また引き受けてくれない？  
富士宮さんって帰宅部だよね？

申し訳ありません…今日はお箏の稽古がありますので…  
そっか…富士宮さんの家、結構厳しいもんね…

ご学友の皆様は部活動で切磋琢磨するのですよね…それを一度も味わうことなく成人と呼ばれる歳になってしまったのですね…わたくしは…

本当に何も知らないまま歳をとっているのですね……って何でしょう？  
『相撲部体験』…？ この学校には相撲部なんてあったんですね…知りませんでした…



なるほど…体験入部と言うからには、動きやすい格好をするのが作法なのですね…

えっとまずは…着ている衣服をすべて脱ぎさり、一糸まとわぬ裸ん坊になって…それから…





——ええっ!? どうしてわたくしは…こんな破廉恥な格好を…?  
確か相撲部の体験入部に目を取られて…そ、そこから何も思い出せません…!!

!?

ここは相撲部の部室でしょうか…それにしてもどうしてわたくしは  
まわし一丁の姿に…!? いつの間にお相撲に興味があったのでしょうか…?





あ、あなたは…相撲部の方でしょうか…？わたくし記憶が無くてですね…  
大変失礼なのですが体験入部を取りやめることは…出来ませんか…？

ハア  
ハア

そもそも女の私が、男子生徒に混ざってお相撲だなんて…





…ま、まわしが…外れないのですが…！こんなにガッチリと締められて…んん…っ！！  
『その魔法のまわしはずっと外れない』…？どこでこんな恐ろしいモノを…？

ハア  
ハア

そんな…これじゃあ一生廻しを付けて生きていく事になってしましますう…！！  
まさかここに入ってしまったのもこのまわしのせい…！？





ど…どすこおーいつ!! か、身体と口が勝手に…!? こんなに足を広げるなんて…  
はしたないですう…!! い、いくら国技とはいえわたくしは…

ハア  
ハア

ぽっ♡

ぽっ♡♡

ぐっ♡

ぐっ♡♡

ばい♡  
ばい♡♡

四股を踏むのは嫌ですようっ!! どすこいどすこいつ!! んんっ…  
まわしがお股にくい込んで…イケナイ気分になってしまいますう…どすこおっいつ!!♡♡





どす…こおいつ!! ハア…ハア…や、やっと終わりましたか…? 酷いです…!!  
仮にも乙女の端くれであるわたくしにこんな恥ずかしいこと…

ハア  
ハア

…ちゃんこ鍋? それを食べるとおっしやるのですか…? わ、わたくし  
お肉が苦手なんです… いやあ…!! 無理やり食べさせないでください…!!





んぐっ…ふう…あ、味は悪くありませんが、胃がもたれてしまいそうです…  
も、もうお相撲はたくさんです…!! 何があっても、相撲部には絶対入りませんから…!!

んぐっ…

ハアア

…『もう一度ここに来たくない?』そ、そんなはず無いでしょう!? わたくしを辱めて  
弄んで…こんな意地悪するあなたと!! もう会いたくなんてないですからっ!! もうっ!!





海音<sup>みお</sup>、こんな時間まで何をしていたんですか…零の先生を待たせるなんて…  
あなたは由緒正しき富士宮の人間としての自覚を…どうかしましたか？

お、お母様…ごめんなさい…なんでもありません…

（あれだけ食べたというのに…お腹が空いて仕方ありません…いつも通りの  
夕食ならお肉も無いのでしょうか…キャビアなんかではお腹は膨れませんよ…）



どぞすうい…っ!!こづこづですか…? 昨日みたいに勝手に身体を動かしては

んぐ…

ぐん♡  
がらん♡

数日後…

ばいん♡  
ばいん♡

ハア…  
ハア…

くれないんですね…今回はあくまでわたくし自身の四股踏みを見たいという事ですね…?



もつと足を高く上げるんですか…？ どす…こおいつ!! …わ、笑わないでください!!  
わたくしだって心の底から四股を踏みたいわけではないんですからね!!  
学校にいる間はまわしを付けるといふ指示も…納得していません!!



ばいん♡  
ばいん♡

ぐろん♡  
ぐろん♡

たぶん♡

あなたが用意したちゃんこ鍋…あれを食べてからわたくし、変なんです!  
冷蔵庫の食べ物を夜な夜な漁ったりもしましたし、家の食事は美味しくありません!!  
腹の虫が…鳴り止まないんです…!! お陰で授業中は恥をかきましたよ!!



ふう…ふうく… お稽古が終わったなら…ちゃんこを食べさせてくれるんですね…？  
もうお腹が空いて仕方がないんですよお…!! どすこいっ!!



昨日から富士宮家の料理人がつくった料理や弁当をいくら食べても腹の足しにも  
なりませんっ!! 一人で何人前もの料理を平らげてるというのに…イライラしますう…!!



そろそろお琴の稽古の時間ですって…？ そんなの知りませんっ!! わたくしお箏が大っ嫌いなんです! お箏を演奏出来たからって将来何の役に立つんですかつ!!



今わたくしがやりたいのは相撲! お相撲なんですっ! お相撲してちゃんこ鍋を食べて! あなたやこの汗臭い部屋とはおさらばするんですっ!! どすこいおっすいつ!!



お、おいひいですぅ〜…♡ 口いつばいに広がる肉汁にアツツアツのお野菜…♡  
今まで食べてきたどんな高級な料亭よりも…♡どんな高級食材よりも美味…♡♡



お家に帰ったらこの料理が味わえなくなるなんて…由緒正しき富士宮家の料理人は役立たずです…♡ 一分一秒でも長く…お口に入れていきたい…♡



なっ…!? 鍋が空になったというのに…まだ腹の虫が収まりません…!  
『もっとお相撲の稽古をしないとちゃんこは食べさせない』…ですって…?



ちや、ちゃんこを人質にとるなんて卑怯です…ですがこのまま帰ってもまた嫌いな琴を弾かされるだけ…どうしてわたくしはあんな家に生まれてしまったのでしょうか…!!



『相撲部に入ればちゃんこ食べ放題』…？ な、何を仰ってるのですか…？  
わたくしは女で…相撲部は皆男子なのですよ…？ 許されるはずが…

…『マネージャーという体なら問題ない』？ そう…ですか…♡  
部活ならどこかに合宿に行つて…家を離れても不自然ではないですね…♡





それと…わたくしを稽古に混ぜていただくことは可能ですか…？♡♡







清楚なお嬢様

が 相撲部の新入部員にされちゃう話